

戸手っ子

なっ 夏☆チャレンジ!

長い夏休みに、
いろいろなことにチャレンジしてみよう！

- ①図画工作
- ②国語
- ③理科自由研究（３年生以上）
- ④社会科自由研究（３年生以上）

保護者の皆様へ

- ・学校を通して、応募するものです。（一部個人応募もあります）
- ・それぞれの応募要項をよく読んで取り組んでください。
- ・学校内選考をしてから、出品するものもあります。

※原稿用紙・画用紙等は、ご家庭でご用意ください。

夏休み 作品コンクール紹介

川崎市立戸手小学校 図工部



下に見てあるコンクールに作品を出したい人は、テーマや画用紙の大きさなど、注意事項をよく確認して取り組んでください。

しめ切りは、**8月31日（月）**です。作品の裏に「学年・クラス」「名前」「作品名」「〇〇コンクール（作品展）」に出します」と鉛筆で書いてください。

MOA美術館児童作品展

テーマ 自由

形式 四つ切画用紙以内（380×540mm）または、B3版（364mm×515mm）以内

画材 水彩絵の具、パステル、クレヨン、カラーペン、色紙など身近材料等
※厚紙、綿、貝殻等の厚みのある作品は不可

その他 作品の返却：○ 参加賞：○

※入賞作品は、11月6日（金）～8日（日）に高津市民館ギャラリーにて展示されます。

アイディア貯金箱コンクール

テーマ 自由（子どもたちのオリジナリティあふれるアイディアを重視します）

形式 一辺の長さが25cm以内

※毎年、大きさをオーバーして出品できないものがあります。

※自分の力でつくろう。何かのマネをしないでね。

×キャラクター ×工作キット ×インターネット ×本

※作品には、個人の名前・顔写真等を記載しないでください。

画材 自由（ただし、こわれやすいもの、くさりやすいものは避ける）

その他 作品の返却：○ 参加賞：○

理科自由研究のてびき・第80回川崎市立小学校科学作品展

令和 8 年度

川崎市立戸手小学校 理科部

みなさんがお待ちかねの夏休みがはじまります。長い夏休みをうまく使って、ふだんできないことをやってみましょう。

ときどき「ふしぎだな」「なぜだろう」「どうしてかな」と思ったことがあるでしょう。この夏休みには、そういうことを調べてみましょう。きっと楽しい発見ができますよ。

☆自由研究のすすめかた

① テーマを見つけよう！

テーマを見つけないことには研究ははじまりません。テーマを見つけることが大切です。次のようなことを参考にしましょう。

- ・自分の身の回りのできごとの中でふしぎに思ったこと。
- ・本やテレビを見ていて「おもしろいな」と思ったこと。
- ・学校の学習の中でもっとくわしくしらべたいと思ったこと。
- ・どこかにでかけたとき、あたらしく見つけたこと。
- ・ともだちやほかの人から聞いたことで「あれ、へんだな」と思ったこと。



例

アサガオの育ち、アゲハチョウの育ち、メダカの観察、ゴムのはたらき、風のはたらき、水に浮くもの、川の石の形、太陽の動き、月の観察

② なにをくわしく調べるかきめる

テーマを見つけたら、その中でもどんなことをくわしく調べるのかを考えましょう。多くのことを調べることもいいですが、1つのことだけをくわしく調べることも大切です。

種類、形、色、模様、数、長さ、大きさ、広さ、重さ、動き、ちがうところ、にているところ

③ 調べ方を考えて、じゅんじょよく実験や観察をしよう

どのようにじっけんや観察をするのか考えましょう。また、ひとつの観察や実験がおわったら、2つめ3つめ・・・と、じゅんじょよくすすめましょう。終わった実験や観察はすべてノート（野帳）に書いておきましょう。あとでまとめるときに便利です。もし、失敗してもくじけずにやりなおしてみましょう。

観察や実験方法、使う道具、観察のじこくや時間、実験の回数

④ くらべるときはじょうけんをかんがえて！

なにかとなにかをくらべる実験のときは、じょうけんを同じにして、くらべたいものだけをかえてしらべましょう。

例

ゴムボールとビニールボールのはずみぐあいを調べる時は、りょうほうとも同じ1メートルの高さからおとして、はずみぐあいをくらべます。

⑤ まとめかたの例

研究の題名（くふうしてみましよう）

川崎市立〇〇小学校
〇年〇組（名 前）

1. 動機 （調べたいと思ったわけ）
2. 課題 （何を調べるのか、内容をはっきりさせましよう）
3. 計画（観察・実験方法）
（どんな道具を使って、いつ、どこで、どんなふうにするのか、絵や図を使って分かりやすくしましよう）
4. 予想
（観察・実験する前に、自分でどんな結果になるか考えてみる。理由も書きましよう）
5. 観察や実験の結果
（字だけでなく、図や表、グラフ、絵、写真などを使って、結果を正確に分かりやすくあらわしましよう）
6. まとめ
（わかったことや考えたこと、反省、ぎもん、感想など）

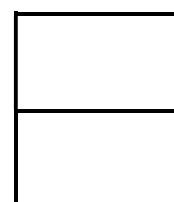
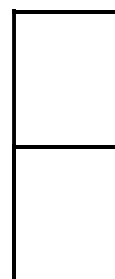
※参考資料（参考にした本や図鑑の名前、出版社など）

模造紙は、線の入った物をつかうと、文字や表が見やすくなります。

☆模造紙はたて・よこ向き2枚以内です。

☆野帳（やちょう）を大切にしましよう。野帳とは、観察や実験のけっかをこまかくメモしたノートのことです。作品を出すときに、いっしょに先生に出しましよう。

☆まとめかたがわからないときは、野帳だけでも出して先生に相談しましよう。



模造紙の枚数はたて、もしくは横にして2枚以内です。

夏休み国語作品募集

国語部

※各学年、部門ごとに複数の応募があった場合は、夏休み明けに校内審査を実施します。

★JA共済神奈川県小学生書道コンクール（校内〆切 8月31日）

（１）半紙の部

用紙規格 半紙（美濃紙などは使いません）

書体 各学年とも楷書

字体 小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるもの

（２）条幅の部

用紙規格 画仙紙半切り

書体 各学年とも楷書

字体 小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるもの

※応募しようとしている人は、学年ごとの課題文字があるので、募集要項を担任の先生に言ってもらいましょう。

※応募作品数が「各学年半紙の部、条幅の部それぞれ１点」なので、

各学年、部門ごとに複数の応募があった場合は、夏休み明けに校内審査を実施します。

※名札は、夏休み明けの校内審査終了後、出品者に渡します。

★MOA 美術館川崎市児童作品展（校内〆切 8月31日）

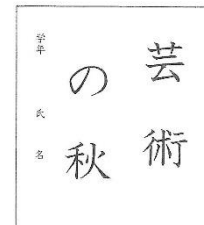
書写部門（絵画部門は図工の作品募集をご覧ください）

☆テーマは自由です。※１人各部門１点まで

用紙 半紙のみ（裏に半紙と同サイズの白い画用紙を貼る）。

作品には、学年、氏名を左側に入れる。

★書写の部 作品例



★「友だちに^{すす}薦めたいこの１冊コンクール」

※指定されたリスト（「わくわくリスト」）から選んだ本や図鑑から、感じたり考えたり見つけたりしたことを伝えるコンクールです。取り組んでみたい人は、担任の先生に伝えて、「わくわくリスト」や専用用紙をもらいましょう。

～「わくわくリスト」や専用用紙をもらい忘れた場合～

<http://www.tok-foundation.or.jp/topics/260626> 東京応化学技術振興財団 HP

「友だちに薦めたいこの１冊」募集要項や作品用紙などが載っていますので、ご活用ください。

○作文部門

推薦文、お手紙、感想文として、４００字詰め原稿用紙１枚または２枚以内で作文してください。

○イラスト部門

本や図鑑を紹介するイラスト・呼びかけとして、本の帯やポップで表現してください。

※応募は自作で未発表の作品で、一人１点の応募となります。応募作品は返却されません。

社会科 夏休み自由研究のすすめ

令和8年7月
川崎市立戸手小学校

ふだんの社会科の学習で、「もっと調べてみたいなあ」と思ったことはありませんか？ふだんはあまり時間がなくて思うように研究ができませんね。そこで、この長い夏休みを利用して自分で研究してみませんか。また、この夏休みで思い出に残るような研究をしてみようと思う人は、ぜひ挑戦してみてください。先生にもどんどん相談してくださいね。10月には、各区で毎年行われている社会科作品展があります。みなさんの作品を楽しみにしています。

<注意事項>

◆社会科作品展の出展対象となるのは、3～6年生です。

◆展示できる作品の大きさは、模造紙1～4枚です。

(ただし、はり合わせ方によっては展示できません。)

◆GIGA端末等のプレゼンテーションソフトで作成した場合も、プリントアウトし規定に合わせて模造紙に貼ることで作品展の出展対象となります。

(ただし、会場にGIGA端末等を設置することはできません。)

◆著作権、肖像権、個人情報などに十分気を付けましょう。自分が活用した資料は確実に明記しましょう。なお、おれのコピーは法律で禁止されています。

【作品のまとめ方の例】

・タイトル ・学校名 ・学年 ・名前

1. 研究をしようと思ったわけ

2. 研究の方法(調べ方)

3. 研究の内容(調べたこと)

4. 研究のまとめ(わかったこと・感想)

※参考資料

・写真、イラスト、図、グラフ、地図、年表などの資料をうまく活用したり、より自分の研究や考えが相手に伝わるよう文字の大きさやタイトル、色づかいを工夫してみましょう！

たとえば、各学年の学習内容に合わせて、 こんな研究はいかがですか？

【3年生】	【4年生】
・ぼく、わたしの学区地図 ・まちに届く野菜の産地調べ ・まちの中の広告調べ ・買い物、商店・商店街・商店会調べ ・〇〇工場での〇〇づくり ・〇〇さんの畑での〇〇づくり ・旅行の記録(自分のまちと比べて) ・消防署や警察署をたずねて ・まちのれきし 今とのちがい 今も残るもの	・家やまちのごみ調べ 清掃車を追って ・リサイクルや身の回りの環境 ・みんなに飲料水を届けるために ・わたしたちのくらしと電気、節電 ・過去の自然災害や現在のまちの備え ・二ヶ領用水の跡をたどる ・神奈川県を発展させた、こんな偉人 ・県内の文化財や年中行事 ・神奈川県の各地の様子 川崎市との違い

【5年生】	【6年生】
・全国の野菜の産地調べ その特徴 ・〇〇県の自然や暮らし、産業、文化 ・ご当地ブランド食材の生産、そのこだわり ・川崎市や日本の工業、最新の〇〇づくり ・川崎市や日本の公害と現在、これから ・〇〇が私たちのもとに届くまで(物流) ・ICTで発展する産業 〇〇分野 ・日本の森林を守る人々 ・自然災害の被害を防ぐために	・市議会のしくみ ・市民の願いが生かされるまちづくり ・遺跡、文化財、博物館をたずねて ・縄文人体験 〇〇時代の暮らし ・川崎市の歴史 古地図をたずねて ・外国とのつながり(文化、貿易、国際交流) ・世界の人々とオリンピック、パラリンピック ・戦争があった頃の様子 平和を考える ・地球規模の問題や世界の未来を考える

【模造紙のはり合わせ方の例】

○1枚 ○2枚 ○3枚 ○4枚

※作品はできるだけ模造紙にまとめて、上記の形にはり合わせてください。
☆作品保護のため、布ガムテープで裏打ちをしてください。

△作品展には展示できません。

※展示の都合上、縦長や横長、枚数過多にならないようご注意ください。

令和8年度 各区社会科作品展

日 時: 令和8年10月17日(土)※1日のみの開催です

各区会場:

川崎区: 新町小 幸区: 御幸小 中原区: 大戸小 高津区: 高津小
宮前区: 南野川小 多摩区: 南菅小 麻生区: 東柿生小

テーマ: **「調べてひろがるひとまち暮らし」**

共 催: 川崎市教育委員会
川崎市立小学校社会科教育研究会

第 72 回青少年読書感想文全国コンクール募集要項

川崎市立小学校情報教育研究会

1. 趣旨

○子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。

○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

2. 応募区分

○小学校低学年の部（1、2 年生）／自由読書・課題読書

○小学校中学年の部（3、4 年生）／自由読書・課題読書

○小学校高学年の部（5、6 年生）／自由読書・課題読書

3. 対象図書

（1）自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

※ブックレット（本文 49 ページ以上のもの）は、対象とします。

※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、月刊誌、日本語以外で書かれた図書および主催者の指定した図書は対象としません。

※紙媒体での書籍に限りますので、電子書籍を読んだ感想文は、対象としません。

（2）課題読書

主催者の指定した図書（課題図書）

4. 用紙・字数

○作品の提出方法は、手書きによる原稿用紙か、ギガ端末のドキュメントによる提出の 2 通りです。

（ドキュメントの場合は、1 ページを 20 字×20 行にして作品の文字数を調整してください。）

○文字数について（入賞作品として選ばれたい場合は、字数いっぱいに書きましょう。

小学校低学年の部（1、2 年生） 20 字×20 行×2 枚（改行の空白含め 800 字以内）

小学校中学年の部（3、4 年生） 20 字×20 行×3 枚（改行の空白含め 1,200 字以内）

小学校高学年の部（5、6 年生） 20 字×20 行×3 枚（改行の空白含め 1,200 字以内）

○題名には、「～をよんで」のような題をさけ、工夫してつけてください。

○句読点、かぎかっはそれぞれ 1 字に数えます。改行のための空白も字数として数えます。

◎ギガ端末のドキュメント→（1 ページあたり 400 字）に書いて川崎市の地区審査に応募します。
（低学年の人は、手書きの作品を担当の先生にドキュメントで打ちこんでもらって応募しても構いません。）

○川崎市の地区審査で上位入賞した作品は、B4 版原稿用紙に作品を手書きしてもらいます。この場合は、本文を 1 行目から書き出してください。（題名・学年・名前は欄外に書いてください。）

○応募は自由読書、課題読書それぞれに一人 1 編ずつ応募できます。

○応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。（他のコンクールとの二重応募不可）

○対話型 AI（ChatGPT など）を使った作品は応募できません。

○入賞・入選作品、学校から代表になった作品は理由を問わず返却しません。

○入賞・入選作品の著作権、版權は主催者に帰属します。

コンクールに応募された児童の氏名・学校名・学年・感想文の題名・対象図書名は、毎日新聞社および全国学校図書館協議会・都道府県市区町村学校図書館協議会の刊行物・ホームページ、川崎市読書感想文画集『本をよんで』で公表することがあります。

●公益社団法人 全国学校図書館協議会 ●毎日新聞社 青少年読書感想文全国コンクール事務局
●神奈川県学校図書館協議会 ●川崎市立小学校情報教育研究会

1. 「よい」本と出合おう。自分の興味関心、心に響いた本を選ぼう。司書さんに聞くのもよい。
2. 自分の心の中にその本が入ってきたら・・・自分が変わった、考えたこと
付せん紙を貼りながら読み進めよう。新しく知ったこと。
すごいなあ、どうしてかなあ。
もし、自分だったら・・・
3. 付せんを見返して、一番伝えたいことをしぼろう。・・・繰り返し本を読むことにつながる。
4. 読書感想文の形を整えて仕上げよう。・・・過去の感想文入賞作品を参考にしてみよう。

- ・自分の経験と重ね合わせる。
- ・本文の一番心に残ったことから引用して書き始める。
- ・普段、疑問に感じていることから書く。
- ・本を読んだ感動から書く。
- ・本を読んだ動機から書く。
- ・会話から始める。

- ・はじめ、中、終わり
- ・起承転結
- ・伝えたいこととあらすじのバランス
- ・一つ目、二つ目
- ・本を読んで考えたことが伝わるような流れ

- 書き出しを受けてまとめる。
- 読者に呼びかける。
- これからの決意で結ぶ。
- 本を読む前と後での気持ちや行動の変化。など

右のQRコードを読み取ってください。読み取れない場合は
<https://www.dokusyokansoubun.jp/books.html>
 で検索してください。



◎校内しめ切り 8月 31日(月) 担任の先生